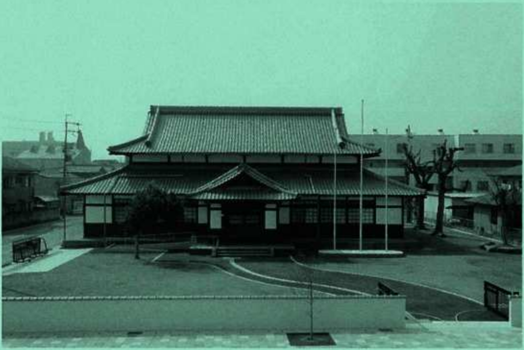
島本町立歴史文化資料館 館報第７号



平成 27 年 11 月

島本町立歴史文化資料館

は じ め に

平成 20 年 4 月 12 日に島本町立歴史文化資料館が開館して、早や 7 年が経ちました。

この間、多くの方々に来館していただき、感謝をいたしております。

さて、当館（旧麗天館）は平成 27 年 3 月 13 日に開催された国の文化審議会文化財分科会において、登録有形文化財（建造物）として登録するよう、文部科学大臣に答申が行われました。皇紀 2600 年（昭和 15 年）の節目の年に、桜井駅跡記念館として建てられた木造平屋建の建物は、地域の歴史を象徴する風格のある会堂風建築として、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当するものとして評価されました。これを機に建物の特性を活かし、より有効な活用を進めて参りたいと思っております。

昨年度には 8 つの企画展および 3 つの講演会を実施いたしました。あわせて平成 26 年 4 月に新たに町指定文化財第 5 号となった「勝幡寺　元三大師みくじ関係資料　一式」の現地一般公開や、再建後の水無瀬離宮跡発見となった「西浦門前遺跡発掘調査」に係るプレゼンテーション説明会も実施し、住民の皆様はもとよりご遠方からも関心をお寄せいただき、多数の来場をいただきました。

開館当初より文化振興の一環として実施しております資料館コンサートも、様々なジャンルのコンサートが開催でき、たくさんの方々から継続開催希望のお声をいただくまでになりました。

公募による施設使用につきましても、昨年度にも増しての多くのご利用をいただきました。今後も地域に溶け込んだ活動を応援する施設であり続けたいと思っております。

いつも温かくご支援くださる皆様方に感謝するとともに、今後の益々のご支援・ご協力を、心からお願い申し上げます。

平成 27 年 11 月

島本町立歴史文化資料館
館 長　北 野 弘 範

目　　次

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

講演会

「仏像鑑賞入門　島本町の仏像」　講師　吉原　忠雄 氏　・・・　3

「おみくじの版木」　講師　永井　一彰 氏　・・・　5

展示

常設展「ひと・もの・みち」　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

町指定文化財「勝幡寺　元三大師みくじ関係資料　一式」速報展　・・・　7

企画展「広瀬遺跡（七反畑）発掘調査」速報展　・・・・・・・・・・・　8

企画展「西浦門前遺跡発掘調査」速報展　・・・・・・・・・・・・・・　8

秋の企画展「版木が伝える元三大師みくじ」　・・・・・・・・・・・・　9

島本の神事展「高浜地区：武内神社　御頭渡し」　・・・・・・・・・・　9

秋の展示「水無瀬駒　関連資料」　・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

新春企画展「しまもとの郷土かるた」原画展　・・・・・・・・・・・　11

民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」展　・・・・・・・・・・　11

体験学習「どき、ドキ、土器探し！」　・・・・・・・・・・・・・・　12

資料館ボランティアの活動報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

事業報告

企画展・催物一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

公募による催物一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

入館団体　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

日誌抄録　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

利用状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

寄贈・寄託　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

受入れ図書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

町指定文化財一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

講演会「仏像鑑賞入門　島本町の仏像」

平成26年5月31日（土）
吉原　忠雄 氏

こんにちは、吉原です。島本町の仏像の話の前に、仏像の鑑賞の仕方を、つまり具体的に、その仏像の名前と造られた時代とを知る方法をお話しします。

仏像制作の目的は、本尊であったり供養したり祈願したりあるいは法会、法要の為に造るわけです。信仰の対象の一方で仏像は美術品なんです。美の基準というのは、時代によって変わります。例えば、現代はほっそり美人がもてはやされますが、観心寺の如意輪観音さんは、豊満な美人です。という風にその時々によって、美に対する意識が違うわけです。その時々にふさわしい美が仏像に反映しているという事です。

その次に、仏像の制作について。仏像は時代によって材料と技法が違います。材料は、飛鳥時代の銅・樟から、奈良時代全盛期は漆、後半からカヤが使われ、平安前期少し過ぎた頃からは檜を使い出しました。そういう傾向なんかも捉えながら見ていくわけです。それから技法。奈良時代ですと脱活・木心乾漆です。それから木造が一木造そして平安後期になってまいりますと、寄木造と言うのは、皆さんご理解頂いているんじゃないかと思います。

そして仏像制作には思想というのが反映します。例えば、沢山の阿弥陀さんがおられます。平安後期以降、浄土教という思想が盛んに取り入れて造られていくわけです。それから、その時代の美意識が反映されるわけです。仏像にはその時代の色々な要素が入っています。仏像は人間が作った物です。そこから、我々は色々な情報を取り出して、研究していく。出来るだけ客観的な知識として取出していくという作業をやります。美意識というのは、人によって違う場合があります。だから極めて不安定です。けれど、時代によってそれぞれの美意識がありますから、それを出来るだけ捉えていこうというのが美術史なんですね。

次に仏像鑑賞のポイントである「知識と感性」についてです。知識と言いますのは、例えば仏像の名前。出来るだけ正確な知識を獲得すると言う事がまず先決です。その仏像の特徴というのを覚えていくことによって何と言う仏であるかという事を、見た瞬間に理解し、把握出来るようになる。これは知識です。それに対して、仏像というのは美術品ですから、これは感性の問題です。美に対する感性と言うのが実は仏像鑑賞に大事になってきます。

で、もう一つ、「比較」。例えばこの仏像とこの仏像とどういう所が似ているのか、そういう訓練をします。印象でこの仏像とこの仏像とよく似ているから同じ時代じゃないかという事を直感で、分かってもらう訓練をしてもらうという事です。

鑑賞のポイントの一つの仏像の名前を知識として覚えるには、「如来」、「菩薩」、「明王」、「天」という仏像の4種類の特徴を覚えて下さい。

如来というのは真理を悟った人で、その特徴は、頭の上が盛り上がって、そして、髪の毛がツブ

ツブになっております。そして薬師如来とか釈迦如来とか阿弥陀如来のちがいは、手の形で判別します。また薬師如来は薬壺を持ちます。

それから、菩薩は、釈迦の王子の時の姿が基本だと考えられています。王子ですから冠をかぶったり、髪を伸ばして綺麗に着飾っているわけです。

菩薩で有名なのが、観音菩薩です。基本的に、観音菩薩は額に阿弥陀の小さな仏を乗せています。我々と同じように普通の人間と同じ姿をしてるのが、聖観音、そして十一面観音、更に御利益がある観音として、千手観音があります。それから観心寺のような如意輪観音です。手が6本あり、「如意宝珠」という玉を持って「法輪」という教えを広める為の輪を持ってます。

それから、地蔵菩薩があります。お坊さんと同じように、頭を丸めて袈裟をつけて、右手に錫杖を持ってます。左手には如意輪観音と同じ珠を持ってます。

それから陀羅尼を守って悪を打ち砕く「明王」があります。よくご存知のものとして不動明王があります。

最後は「天」です。仏教の守護神です。一番に皆さんがご存知なのは毘沙門天です。左手に宝塔を持って、鎧を着てます。これは中国で成立したからです。仏像がその地域のものと融合している証拠でもあります。簡単な特徴を覚えるだけで、基本的な10の仏像の見分け方が理解していただけたと思います。これだけを完全に覚えると、特徴を次々に覚えられて仏像が増えて行きます。

鑑賞のポイントの2つ目の仏像の時代判定をするには、まず、時代区分と時代を知らなければなりません。飛鳥時代前期、同後期、天平（奈良）時代、平安時代、同後期、鎌倉時代…。それぞれの時代の美意識に基づいて、表現の形式つまり様式が違います。

わかりやすいように、2つのスクリーンの映像で比較しながら、具体的に説明します。飛鳥時代の法隆寺釈迦三尊像は、不思議な神秘的な感じですが、これは左右対称で平面的な表現などからです。それが後期の野中寺弥勒菩薩半跏像では量感と立体感が出てきて、天平時代の葛井寺千手観音坐像では理想的な人体表現となりますが、平安前期ではそれを崩して神護寺薬師の量感豊かな威圧的で存在感のある仏像になります。やがて遣唐使の廃止などで日本人の感性に応じた優美で繊細な平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像が平安後期の代表として大成されます。平安末の混乱により現実感が浸透するに従い、鎌倉時代の運慶の写実的な量感のある願成就院阿弥陀如来坐像が制作されます。

このように、各時代の代表あるいは代表的な作品を比較することによって、少なくとも時代時代で仏像の感じが違うことがわかっていただけたと思います。各時代の仏像にはその時代の表現、様式には共通する感じ、受ける印象がありますので、その印象を大切にしてください。多分、今度、仏像の展覧会なんかで同じ印象の仏像に出会うことがあると思います。一方で、仏像の名前を覚え、一方でその時代独自の様式に対する感性を磨く。仏像の鑑賞はこれに尽きると思います。

それでは地元島本町の仏像の名前と時代をあてるクイズを出します。（中略）はい、みなさんよく出来ました。島本町の仏像では宝城庵の薬師如来立像が平安後期、勝幡寺の薬師如来立像が鎌倉初期、地蔵院地蔵菩薩立像が鎌倉時代ということなどが、今日習った知識と感じでわかっていただけたでしょう。

という事で最後ですが、今日は本当に暑い中、熱心に聴いて頂いて私も話がいがありました。ありがとうございました。

講演会「おみくじの版木」

平成26年11月16日（日）
永井　一彰　氏

島本町の皆さんこんにちは。奈良大学の永井でございます。今日は勝幡寺のおみくじの版木についてお話をする事になってますが、その前に版木の基礎知識をご理解頂きたいと思います。

町で作って頂いたチラシでは、版木の「版」、私のレジュメは「板」と言う字を書いていますが、版木と板木の意味は同じです。ただ、版木関連の文書などを見ますと、ほとんどが板と言う字を使っています。したがって私はこの板と言う字を使うようにしております。

奈良時代からすでに印刷は行われています。文字をひとつひとつ彫って、それを並べて墨を塗って紙を被せてこするという活字印刷があります。奈良時代に印刷された、「百万塔陀羅尼」は、印刷年代がハッキリしている印刷物としては世界最古のものと言われております。ただこれは活字印刷であるのか、板木印刷であるのか確定できていません。板木印刷として古い例は、京都府の木津川市加茂町にある平安時代創建の浄瑠璃寺から出て参りました「百体仏」が確認されております。したがって板木印刷は平安時代から行われていたという事が分かります。その後鎌倉、室町期は主に経典を中心として板木印刷が行われます。江戸時代に入り、世の中が安定して平和な時代がやってきて、いわゆる本屋というのが登場してくるわけです。商業出版が始まるんです。江戸時代の出版物のほとんどはこの板木で印刷されてきているわけです。

次は文字の彫り方ですが、断面が薬の材料を砕く薬研という道具の形に似てるんで薬研彫りといいます。板木に墨が溜まりにくく、刷毛の運びを良くする為にこういう彫り方をしてるわけです。これが、古い時代の板木ほどしっかりと彫ってあるんです。江戸時代の終わり頃になってきますと、これが崩れてきます。だから薬研彫りがしっかりしてる物は、古い時代の物だと考えていいわけです。この勝幡寺のおみくじの板木は薬研彫りがしっかりとしてます。ということは、ある程度古い時代のものだという見当がつくわけです。それから、元禄より以前の物は文字の彫りが深いです。元禄を過ぎて来ますと文字の彫り方が浅くなっていきます。これは、彫りの技術の進歩というのがあるということ。それから、板木の再利用のためです。最初、板木の厚さは大体3センチほどあります。「往来物」「易占書」などの実用書は確実に需要があるので、最初からしっかりとした板木を使ってます。ところが売れない本の板木は見切りを付けた段階で、板木を削ってしまうんです。そうすると、少し薄くなるけれどもまたその板木を使えるわけです。再利用の板木は、反りにくくなってるという利点があるんです。そういう事が元禄を境にして起きています。

それから、板木が反るのを防ぐ為に「反り止め」をくっつけます。「食み（はみ）」と言います。これも板木と同様に時代的な変遷があるのですが、実は反り止めは板木ほど残ってないんですね。板木が5000枚残ってたとすると、反り止めが残ってる目安の3分の1位、もっと少ないかもしれないかもしれません。明治以降、板木がどうしてなくなったのかというと、色んな理由があるんで

すが、ほとんどは焚き木として燃やされてしまったんですね。ただ板木を燃やす場合は綺麗に文字が彫ってあるので罪悪感があるわけです。でも反り止めは要するに木切れですよね。丁度、七輪の焚き木にするのに程良い大きさなんです。だからほとんど燃やされてしまうんですね。それから反り止めの効果は板が反るのを止めるという効果もありますし、もう一つ板木の保存に関わってくるんです。江戸時代の本屋さんは板木を棚に平積みにしていくんです。だから反り止めが無い状態で板木を平積みしますと、文字を彫った面と面が当たり、板木が傷むという事が起きてくるんですね。反り止めを付けると、それが防げる。しかも程良く風も通って保存上非常に具合がいいわけです。江戸時代の本屋さんは板木の収納というのに随分と苦労しているんですね。反り止めにはこういう効果があるわけですね。

今度は、板木がどのくらい持つのかということです。芭蕉の「奥の細道」の板本というのは2種類ありまして、芭蕉の没後まもなく出版された元禄版と、元禄版の板木は火事で消滅したので彫り直したのが寛政版です。したがって、「奥の細道」の元禄版の板木というのは現存していません。それを色々調べていった時に分かってきたんですけども、元禄１６年に「奥の細道」の元禄版というのが出ます。そして天明8年までずっと同じ板木を使ってます。約100年です。ところが色々調べてみますと、100年というのは朝飯前で、同じ板木を彫り直しをせずに200年は平気で使うんです。200年ということは、言いかえればこれはもう半永久的ということになります。保存状態さえ良ければ、半永久的に利用が可能なんですね。このように徹底して使います。以上が基礎知識です。

以上の事をふまえて勝幡寺のおみくじの板木がどのような値打ちがあるのかということを考えていきます。まずは、これが「どこで作られたのか」ということです。ここで板木の形状が問題なんです。天地が逆になってることから、これはプロが彫ったんですね。ということは、これは寺で作った物ではない。これは断言出来ます。大阪か京都の専門の本屋に依頼をして作らせている。蔵板といいます。お寺でよくあるんですけど、お寺の御住職が仏教関係の本を出したいとか、それから漢詩集を出したいとかいう場合は、専門の本屋に頼むわけです。印刷したい時に本屋に頼んで、印刷・製本をする。こういうのを蔵板といいます。勝幡寺のおみくじの板木も多分あり方としては、蔵板だと思います。板木はどっかの本屋に勝幡寺が依頼をして作らせ、板木はお寺に置いてありました。必要な時にお寺さんは本屋さんに声をかけて、「今度、200位刷ってくれるかな。」というオーダーをかける。そうすると職人がやって来ます。板木は寺から動かしません。何故かというと板木が紛失するなどのトラブルの元になるからです。勝幡寺の場合も本屋に声をかけて、刷りの職人がやって来ます。そして、お寺で刷り、裁断をする。墨をどこで用意するか？お寺で用意するのか、職人が持って来るのかによって、印刷代金が変わってくるんです。そういうことを指定した文書もあります。それから職人が動くときに、証明書がいるんですね。鑑札がいるわけです。それから、確定は出来ないんですが、彫り方が古い。薬研彫りがしっかりしている、反り止めが再利用可能なスライド式であることから、元禄以降の比較的古い時期という位しか年代について言えないんです。おみくじの由来については、パネル展示で詳しい説明があるのでそちらをご覧頂きたい。

以上、板木の基本的なお話と、勝幡寺のおみくじの板木がどのあたりに位置付けられるのかという事を見て参りました。私のお話はここで終わらせて頂きます。

展示

常設展　「ひと・もの・みち」

島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川が合流する地にあります。町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。その街道沿い国史跡桜井駅跡とＪＲ島本駅のすぐ近くに当資料館があり、ロケーションの良さでいろいろな方に立ち寄っていただけます。

11 月のある日、資料館に町内の中学生が職場体験に来ました。

記者になりきって、館長を取材しました。名刺交換に始まり、資料館の成り立ちから話を聞き、メモを取りました。

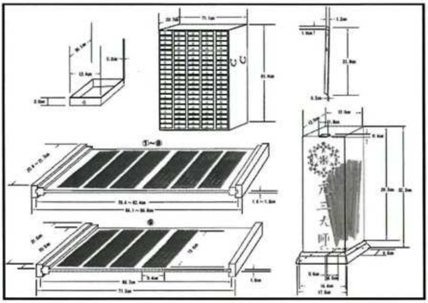
開館時間　午前 9 時 30 分 ～ 午後 5 時
休 館 日　毎週月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）
　　　　　12 月 29 日 ～ 1 月 3 日　その他臨時に開館･休館する場合があります。
入 館 料　無料

町指定文化財「勝幡寺　元三大師みくじ関係資料　一式」速報展

展示期間 ： 平成 26 年 4 月 26 日（土）～ 6 月 15 日（日）

平成 26 年 4 月 1 日、町指定文化財第 5 号に「勝幡寺　元三大師みくじ関係資料　一式」（みくじ版木、みくじ箱、みくじ竹、みくじ箪笥）を指定しました。寺の本尊、薬師如来立像も町指定文化財です。

保存状態は良好で、版木には魔よけで信仰を集めた角大師の絵や、大吉、小吉など、運勢の吉凶説明が彫られています。角大師は平安時代の天台宗の中興の祖、良源（元三大師）のことで、寺院や神社で行われる「みくじ」の創始者といわれ、自ら夜叉の姿となり、厄除けの象徴となることを誓ったと言われています。



版木の制作年代は 18 世紀頃で、全体を通して版木の彫りがしっかりとしていることから、版元である寺が本屋に依頼し、専門の彫師が制作したものと考えられ、版木の優れた例として貴重です。

企画展「広瀬遺跡（七反畑）発掘調査」速報展

展示期間：平成 26 年 7 月 9 日（水）～8 月 31 日（日）

平成 25 年 3 月 4 日（月）～平成 25 年 4 月 5 日（金）に広瀬遺跡（七反畑）で実施した発掘調査の速報展です。この調査で検出した遺構の写真パネルや縄文土器や石器といった出土遺物を用いて紹介しました。

この調査では、縄文時代晩期の竪穴住居跡や石器の工房跡といった遺構を検出しました。縄文時代の遺構を発見したのは本町域内では初めてのことです。出土した約 100 点もの石器は、この時代のものは大阪府内においても出土例が少なく、非常に貴重な資料となりました。

また、この調査現場から持ち帰った土の中から、遺物を探し出す体験学習「どき、ドキ、土器探し！」を平成 25 年 7 月 21 日（土）、8 月 2 日（金）、8 月 3 日（土）に開催しました。今回の速報展では、その時に見つかった遺物も展示しました。

企画展「西浦門前遺跡発掘調査」速報展

展示期間：平成 26 年 9 月 20 日（土）～9 月 25 日（木）

平成 26 年 5 月 22 日（木）～平成 26 年 6 月 2 日（月）に試掘、平成 26 年 6 月 16 日（月）～平成 26 年 8 月 31 日（日）に本調査を実施した西浦門前遺跡の速報展です。

この調査では鎌倉時代の宮殿跡、室町時代の寺院跡が発見されましたが、鎌倉時代の遺構は後鳥羽上皇が造営した水無瀬離宮の庭園跡である可能性が高いものであり、特に大きな注目を集めることとなりました。

今回の速報展では、検出した遺構の写真パネルや土器や青磁、瓦といった出土遺物を用いて紹介しました。

また、発掘調査の概要と展示内容の解説のために、平成 26 年 9 月 23 日（火）午前 10 時からと午前 10 時 50 分からの二回、ふれあいセンターのケリヤホールでスライドによる説明会を開催しました。

秋の企画展「版木が伝える元三大師みくじ」

展示期間：平成 26 年 10 月 29 日（水）～12 月 14 日（日）

島本町近隣のみくじ紹介や、現地での一般公開【11 月 23 日(日)・24(月・祝)】に併せて、実際に来館者の方に「元三大師みくじ」を体験していただこうと、みくじ箱の複製品を製作しました。

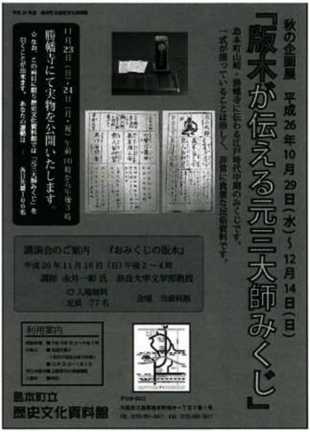
来館者は「吉」「凶」に一喜一憂しました。

また、奈良大学より講師を迎え講演会を実施しました。

演題：「 おみくじの版木 」

日時：11 月 16 日（日）　　午後２時より

講師：永井一彰教授（奈良大学　文学部教授）



島本の神事展「高浜地区：武内神社　御頭渡し」

展示期間：平成 26 年 12 月 17 日（水）～平成 27 年 2 月 1 日（日）

高浜地区にあります、武内神社は旧記によると壱岐直真根子を祭り由岐社と称しました。

離宮八幡宮七〇有余の摂社の一つで、同八幡社記には「由岐社在摂津国高浜村」とあります。

御頭わたしは、宮司のお祓いのあと祝詞奏上、氏子総代、御頭人の玉串奉奠ののち参列者の御頭（当屋）と隣組の人にお神酒が一巡されます。

終了後、御頭を次番の隣組が受継ぎます。御頭人は、一年間神事の奉仕を担当します。

地域で守り伝えられている、大切な行事です。

秋の展示「水無瀬駒　関連資料」

展示期間：平成 26 年 11 月 2 日（日）～12 月 14 日（日）

例年行なっている「水無瀬駒」の展示です。

町指定文化財第 1 号になった「水無瀬駒　関連資料」は、15 世紀に 6 種類の将棋が存在したことや、将棋の初期配置、表と裏の文字、駒の進め方をなど、将棋の指し方を知る資料「象戯圖」の複製品の完成もあり、「水無瀬駒」「将棊馬日記」の 3 点を常時見ていただけるようになりました。

期間中の実物展示は、11 月 22 日（土）～23 日（日）の 2 日間に「水無瀬駒　関連資料」のうち、水無瀬駒の「中将棋（八十六才銘）」墨書と、今回初展示となる水無瀬神宮 30 代忠寿氏制作の大将棋の展示を行いました。

現在の駒は 40 枚ですが、大将棋の 354 枚の駒が並ぶと壮観です。

駒の多さと、文字の珍しさを、みなさんに見ていただこうと企画しました。

また、常設展示解説には、大阪青山短期大学博物館所蔵の文献で、水無瀬家兼成と関わりの深い、「後陽成天皇宸翰消息」を加えました。

この消息は、天皇が妙法院の常胤（じょういん）法親王にあてたもので、常胤が「哥道之秘訣」一巻を某人より伝授されたことを喜び、明日は、京都に出てくる氏成（水無瀬兼成の息子）と象戯を指したい、また、やがて連歌を興行するので、その際には出席ください、と伝える内容のものです。

この時代に天皇が実際に将棋を指していたことを示した史料は少なく、貴重な消息文といえます。

後陽成天皇（一五七一－一六一一）が常胤法親王（一五四八－一六二一）にあてた消息。常胤は伏見宮邦輔親王の第五王子。

天皇が和歌だけではなく、将棋（象戯）にまで幅広い関心を寄せたことが推測できます。また、このことは、公家達の日記などに将棋を指したことが、数多く記載されていることからもわかります

《釈文》

御書殊ニ哥道之秘訣
之一巻御伝授、至極祝
着申候、穂而書写申候、
其上にて御談合可申候、
誠此間者殊遣之至にて候、
明日御出待申候、水無瀬も
出京候間、旁象戯之望も
不浅候成、兼又
連哥、穂而興行申度候間、
御出座可然候也
卯廿八日
回鳳妙法院とのへ　政輔

常胤が「哥道之秘訣」一巻を某人より伝授されたことを喜び、明日は、京都に出てくる氏成（水無瀬兼成の息子）と象戯を指したい、また、やがて連歌を興行するので、その際には出席下さいと伝える内容のもの。

（署名には「政輔」とあり「寛輔」と供に時に使用された天皇のもの）

『宸翰　天皇の書』図録二〇一二年京都国立博物館刊行より（一部加筆）

新春企画展

「しまもとの郷土かるた」原画展

展示期間：平成 27 年 1 月 7 日（水）～2 月 1 日（日）

「あ」「さ」「き」「ゆ」「め」「み」「し」計 7 枚
今回の原画では安産の守り神に始まり、尺代の神事、天然氷の大沢、後鳥羽上皇にまつわる水無瀬神宮。島本の稲作発祥の桜井地区など、絵札で史蹟をたずねました。原画も残りわずかと成りました。

【過去の企画展】

年　度	絵　　札	枚　数
平成 20 年度	「い」、「ろ」、「は」、「に」、「ほ」、「へ」、「と」	計 7 枚
平成 21 年度	「ち」、「り」、「ぬ」、「る」、「お」、「わ」、「か」	計 7 枚
平成 22 年度	「よ」、「た」、「れ」、「そ」、「つ」、「ね」	計 6 枚
平成 23 年度	「な」、「ら」、「む」、「う」、「の」	計 5 枚
平成 24 年度	「く」、「や」、「ま」	計 3 枚
平成 25 年度	「け」、「ふ」、「こ」、「え」、「て」	計 5 枚
平成 26 年度	「あ」、「さ」、「き」、「ゆ」、「め」、「み」、「し」	計 7 枚

民具・農具展

「むかしのくらしと農家のしごと」展

展示期間：平成 27 年 2 月 4 日（水）～3 月 1 日（日）

季節の常設展示となりました。

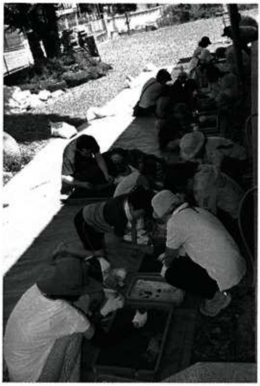
当初より町内の小学 3 年生を対象に行われている体験コーナーに、高学年になってもリピーターで訪れてくれる子どもたちと再会できることは、職員の喜びでもあります。

毎年、足踏みミシンは大人の方にも人気があります。整備してお待ちしていますので、お気軽に職員までお声かけください。

体験学習

「どき、ドキ、土器探し！」
　～資料館で発掘調査を体験～

日程：平成 26 年 7 月 26 日、29 日、
30 日、31 日、8 月 1 日



昨年に引き続き、町内の縄文時代の遺跡発掘調査で持ち帰った土の中から、土器や石器の欠片を探し出す発掘体験を行いました。

昨年度好評で、ご参加いただけなかった方もおられたため、体験の日を増やしての実施です。毎日たくさんの参加をいただきました。

また、館内では、遺跡の解説や発掘調査で出土した縄文時代の石鏃や土器の展示に加え、昨年度体験学習で探し出された遺物が並べられました。

資料館ボランティアの活動報告

1 期、2 期のみなさんと資料館担当職員で毎月一回の定例会を開催しています。
資料館内外で企画される活動に参加、協力いただき特に団体予約で説明を希望される来館者への解説や、年間を通じて行われるコンサートの対応。また、発掘現場より持ち帰った遺物の土器洗い、接合作業などを体験されています。

今年は、第三小学校 3 年生の生徒たちと 11 月に史蹟の町内めぐりをしました。

事業報告

企画展・催物一覧

開催日	企画展名
平成26年 4月26日(土)～ 6月15日(日)	町指定文化財「勝幡寺 元三大師みくじ関係資料 一式」速報展
平成26年 7月 9日(水)～ 8月31日(日)	「広瀬遺跡(七反畑)発掘調査」速報展
平成26年 9月20日(土)～ 9月25日(木)	「西浦門前遺跡発掘調査」速報展
平成26年10月29日(水)～12月14日(日)	秋の企画展「版木が伝える元三大師みくじ」
平成26年11月 2日(日)～12月14日(日)	「水無瀬駒 関連資料」 展示
平成26年12月17日(水)～平成27年2月1日(日)	島本の神事展「高浜地区:武内神社 御頭渡し」
平成27年 1月 7日(水)～ 2月 1日(日)	「しまもとの郷土かるた」原画展
平成27年 2月 4日(水)～ 3月 1日(日)	「むかしのくらしと農家のしごと」 展

開催日	催 物
平成26年 4月20日(日)	第41回コンサート「釜村亜希ピアノリサイタル」～春の日差し～
平成26年 5月10日(土)	第42回コンサート「木村修子ヴァイオリンリサイタル」～想い～弦の調べにのせて
平成26年 5月23日(金)～ 5月25日(日)	リサイクルブックフェア
平成26年 5月25日(日)	第43回コンサート「村瀬響ヴァイオリンコンサート2」～才気あふれる若きヴァイオリニストを迎えて～
平成26年 5月31日(土)	講演会「仏像鑑賞入門 島本の仏像」 吉原忠雄氏
平成26年 6月22日(日)	第44回コンサート「上田哲子ヴァイオリンリサイタル」～ドイツ・フランスの旅～
平成26年 7月26日(土)、29日(火)～8月1日(金)	夏休み体験学習「どき、ドキ、土器探し」
平成26年 8月 5日(火)～ 8月8日(金)	水無瀬駒ストラップ作り・将棋体験教室
平成26年 9月21日(日)	第45回コンサート「室内楽の楽しみ」～木管アンサブルの響き～(アンサンブル クリムスクラムス)
平成26年10月19日(日)	第46回コンサート「島本発!!ピアノで綴る ヨーロッパ音楽の旅へご一緒しませんか」
平成26年10月26日(日)	第47回コンサート「福井英里子ヴァイオリンリサイタル」～巨匠ベートーベンのソナタをあつめて～
平成26年11月15日(土)	講演会「菊池雄司 ～邦楽のつどい～」 菊池雄司氏
平成26年11月16日(日)	講演会「おみくじの版木」 永井一彰氏
平成26年11月23日(日)～11月24日(月)	みくじ体験
平成26年11月23日(日)～11月24日(月)	水無瀬駒実物展示
平成27年 3月22日(日)	第48回コンサート「向井優希ソプラノリサイタル」～すてきな春に～

公募による催物一覧

開催日	内 容
平成26年 4月24日(木)	「童謡、唱歌を歌う」童謡クラブ・歌声さろん
平成26年 5月20日(火)	「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
平成26年 6月24日(火)	「詩吟発表会」直心吟詩会
平成26年 7月 2日(水)～ 7月 8日(火)	「七夕飾り」島本竹工房
平成26年 7月 6日(日)	「手作り市」島本町商工会
平成26年 8月23日(土)	「かぐや姫の夕べ」島本竹工房
平成26年10月23日(木)	「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
平成26年10月25日(土)	「活動発表会」童謡クラブ・歌声さろん
平成26年11月 9日(日)	「スライド紙芝居&紙芝居」日本児童文芸家協会(キッズらいぶ)
平成26年12月17日(水)～12月21日(日)	「優秀作品展」MOA美術館島本町児童作品展実行委員会
平成27年 3月11日(水)～ 3月15日(日)	「作品展」脇田教室
平成26年 5月～平成27年3月 毎週火・木曜日	「やさい朝市」農業振興団体協議会

入館団体

平成26年度(2014)		
4月4日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)	
	太平記を読む会(広島市)	
4月12日	小野薬品(大阪市)	
4月30日	豊中二中9期生有志(豊中市)	4団体
5月8日	26年度新規採用職員研修(島本町)	
5月13日	ふれあいハイキング(高槻市)	
	高槻市登町 C団地寿会(高槻市)	
5月16日	茨木市 歩こう会(茨木市)	
5月22日	日本コム シス関西OB会(茨木市)	
5月24日	塔短歌会(高槻吟行会)(高槻市)	
5月28日	NPO大阪活性化推進総研(島本町)	
	初任者教員研修(島本町)	8団体
6月8日	桂坂山の手倶楽部ハイキング同好会(京都市)	
6月22日	金剛山 剛友会(羽曳野市)	
6月24日	遊歩会(高槻市)	
6月29日	奈良女子大学(奈良市)	4団体
7月16日	茨木診療所健康を守る会(茨木市)	
7月21日	大山崎ウォーキングいきいきフレンド(大山崎町)	2団体
8月2日	岸和田市南上町ﾛｲﾔﾙｸﾗﾌﾞ歩こう会(岸和田市)	1団体
9月18日	大阪家庭少年友の会(島本町)	1団体
10月17日	同窓会 関西支部(茨木市)	
10月21日	放送大学 三重学習センター(津市)	
10月26日	如是西地区コミュニティ(高槻市)	3団体
11月5日	積寿会(西宮市)	
11月20日	なわてロードガイドゆずりは(四條畷市)	2団体
12月2日	京都百人一首・かるた研究会(京都市)	
12月3日	日本セカンドライフ協会(高槻市)	
12月6日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)	
12月9日	大阪市北部コミュニティーカレッジ(大阪市)	
12月12日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)	
12月20日	洲らくたび(京都市)	
12月23日	川西りんどう学園 ことば学科(川西市)	7団体
1月11日	しまもとバンブークラブ(島本町)	
1月15日	朝日カルチャーセンター「京の街ウォッチング」(京都市)	
1月20日	大阪シティアカデミー歩く古代史(吹田市)	
1月25日	大和桜井市あるこう会(桜井市)	
1月27日	摂津健康歩く会(摂津市)	5団体
2月4日	町立第二小学校 三年生(島本町)	
2月5日	町立第四小学校 三年生(島本町)	
2月10日	町立第一小学校 三年生(島本町)	
	いこいこ未来塾親睦会(茨木市)	
2月15日	大阪魂(八尾市)	
2月19日	いきいき会(高槻市)	
2月21日	杉さんぽくの会(豊中市)	
2月24日	町立第三小学校 三年生(島本町)	8団体
3月17日	いきいきハイキングクラブ(高槻市)	
3月19日	兵庫県歩け歩け協会(神戸市)	
3月28日	京都史跡ガイドボランティア協会(京都市)	3団体

年間 48 団体入館

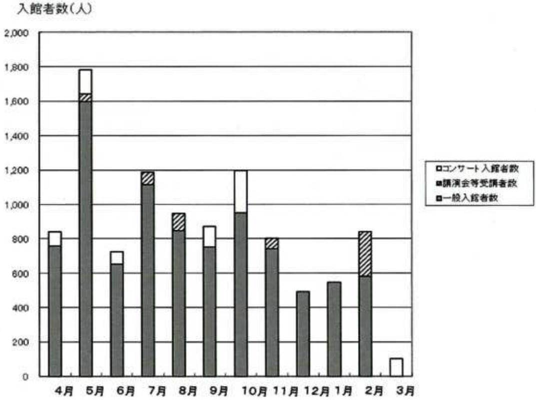
日誌抄録

平成26年度(2014)	
4月3日	資料館ボランティア定例会
4月20日	第41回コンサート「釜村亜希ピアノリサイタル」
4月24日	公募による発表「童謡クラブ・歌声さろん」
4月26日	町指定文化財第5号速報展 「勝幡寺 元三大師みくじ関係資料一式」(～6/15)
5月10日	第42回コンサート「木村修子ヴァイオリンリサイタル 」
5月20日	公募による発表「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
5月23日	リサイクルブックフェア(～25日)
5月26日	第43回コンサート「村瀬響ヴァイオリンコンサート2」
5月31日	講演会「仏像鑑賞入門 島本町の仏像」(講師:吉原忠雄氏)
6月5日	資料館ボランティア定例会
6月22日	第44回コンサート「上田哲子ヴァイオリンリサイタル」
6月24日	公募による発表「詩吟発表会」直心吟詩会
7月2日	公募による催物「七夕飾り」島本竹工房(～7/8)
7月3日	資料館ボランティア定例会
7月6日	公募による催物「第5回しまもと手づくりコミュニティ市」
7月8日	消防訓練
7月9日	「広瀬遺跡 (七反畑) 発掘調査」 速報展(～8/31)
7月26日	夏休み体験学習「どき、ドキ、土器探し」①
7月29日	夏休み体験学習「どき、ドキ、土器探し」②
7月30日	夏休み体験学習「どき、ドキ、土器探し」③
7月31日	夏休み体験学習「どき、ドキ、土器探し」④
8月1日	夏休み体験学習「どき、ドキ、土器探し」⑤
8月5日	水無瀬駒ストラップづくり・将棋体験教室①
8月6日	水無瀬駒ストラップづくり・将棋体験教室②
8月7日	水無瀬駒ストラップづくり・将棋体験教室③
8月8日	水無瀬駒ストラップづくり・将棋体験教室④
8月23日	公募による催物「かぐや姫の夕べ」島本竹工房
9月4日	資料館ボランティア定例会
9月20日	「西浦門前遺跡発掘調査」 速報展(～9/25)
9月21日	第45回コンサート「室内楽の楽しみ」
10月9日	資料館ボランティア定例会
10月19日	第46回コンサート 「島本発!!ピアノで綴るヨーロッパ音楽の旅へご一緒しませんか」
10月23日	公募による発表「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
10月25日	公募による発表「活動発表会」童謡ｸﾗﾌﾞ・歌声さろん
10月26日	第47回コンサート「福井英里子ヴァイオリンリサイタル」
10月29日	秋の企画展「版木が伝える元三大師みくじ」(～12/14)
11月2日	「水無瀬駒 関連資料」 展示(～12/14)
11月6日	資料館ボランティア定例会
11月9日	公募による発表「スライド紙芝居＆紙芝居」 日本児童文芸家協会(キッズらいぶ)
11月12日	文化庁建物調査
11月15日	講演会「菊央雄司～邦楽のつどい～」(地歌箏曲演奏家:菊央雄司氏)
11月16日	講演会「おみくじの版木」(講師:永井一彰氏)
11月22日	水無瀬駒実物展示(～23日)
11月23日	「元三大師みくじ関係資料一式」一般公開(勝幡寺:～24日)
12月4日	館内ボランティア定例会
12月17日	島本の神事展「高浜地区:武内神社 御頭渡し」(～2/1) 公募による展示「優秀作品」 MOA美術館島本町児童作品展実行委員会(～21日)
1月7日	「しまもとの郷土かるた」原画展(～2/1)
1月29日	館内ボランティア定例会
2月4日	「むかしのくらしと農家のしごと」展(～3/1)
3月11日	公募による展示「脇田教室」(～15日)
3月12日	館内ボランティア定例会
3月22日	第48回コンサート「向井優希ソプラノリサイタル」

利用状況

平成 26 年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	756	1596	651	1114	848	749	950	742	492	546	579		9,023
講演会等受講者数	0	43	0	71	96	0	0	61	0	0	260	0	531
コンサート入館者数	85	141	71	0	0	120	245	0	0	0	0	100	762
総入館者数	841	1,780	722	1,185	944	869	1,195	803	492	546	839	100	10,316



寄託・寄贈

平成 26 年度は点の寄贈をいただきました。ありがとうございました。

内容	点数	内容	点数
足踏ミシン	1 点	わら打ち機	1 点
石臼セット（石臼、台、杵）	4 点	踏み車	1 点
前挽鋸	1 点	写真、写真集	7 点
縄ない機	1 点	資料	7 点

合計	23 点

受入れ図書

発行	刊行物名
株式会社イビソク関西支店	イビソク京都市内遺跡調査報告第6輯 平安京左京二条二坊十二町跡 −集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書−
綾部市教育委員会	綾部市文化財調査報告第41集 青野南遺跡第9 次発掘調査報告
綾部市資料館	あやべの横穴式石室 綾部市資料館第20回特別展示「王者の証し」 平成24年10月6日～11月25日
池上曽根史跡公園協会	平成23年度 池上曽根史跡公園協会要覧
池田市	池田市史 史料編 ⑬ 近代史資料
池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2013年度
池田市立歴史民俗資料館	池田市立歴史民俗資料館平成26年度特別展「モダニズムの記憶 −建築でたどる北摂の近代−」
生駒ふるさとミュージアム	展示案内 生駒ふるさとミュージアム
生駒市教育委員会	生駒市内遺跡発掘調査概要報告書 2013年度
泉大津市・泉大津市教育委員会・泉大津市制施行70周年記念写真集製作委員会	かわりゆくふるさと 泉大津市の70年 −泉大津市制施行70周年記念写真集−
泉大津市立織編館	ふるさとの民具 −泉大津市立織編館所蔵民具より−
泉大津市教育委員会	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報33
	泉大津市・和泉市 大園遺跡発掘調査報告書−宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告−
泉佐野市教育委員会	第72号 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
	第73号 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
	第74号 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
	第75号 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成25年度
	重要文化的景観 日根荘大木の農村景観
	国史跡日根荘遺跡 土丸・雨山城跡－南北朝期から戦国期の山城と九条家領日根荘－
	国史跡日根荘遺跡
和泉市史編さん委員会	和泉市史紀要第20集 和泉の村の明細帳Ⅰ
	和泉市史紀要第21集 和泉市歴史的建造物調査報告書Ⅰ
和泉市教育委員会	惣ヶ池遺跡の発掘調査 ～鶴山台惣ヶ池公園改修工事に伴う発掘調査概要報告
	和泉市埋蔵文化財発掘調査概報24
	大園遺跡発掘調査報告書 土地区画整理事業に伴う葛の集落の調査
	和泉国府跡12−73地点の発掘調査2 学校法人和泉宮学園 和泉幼稚園建設に伴う発掘調査（その2）
	多田銀銅山遺跡（銀山地区）詳細調査報告書 −役所関連遺跡と生産遺跡の調査−
茨木市	新修茨木市史 第七巻 史料編 考古
大阪府立狭山池博物館	大阪府立狭山池博物館 研究報告8
大阪狭山市教育委員会	狭山池シンポジウム２０１２ 記録集 ため池築造と偉人
	東アジアの水利灌漑と狭山池
	大阪狭山市文化財報告書42大阪狭山市内遺跡群発掘調査概要報告書23—陶邑 陶器山309・310号窯—
大阪狭山市立郷土資料館	重源狭山池改修碑重要文化財指定記念特別展 重源と東大寺 鎌倉時代の復興を支えた人びと
大阪府立近つ飛鳥博物館	博物館だより アスカディア・古墳の森Vol.40 大阪府立近つ飛鳥博物館平成26年度 春季特別展 ヤマト王権と葛城氏
	大阪府立近つ飛鳥博物館 館報17
	大阪府立近つ飛鳥博物館 平成26年度春季特別展 開館20周年記念特別展 ヤマト王権と葛城氏−考古学からみた古代氏族の盛衰−
	博物館だより アスカディア・古墳の森vol.41大阪府立近つ飛鳥博物館 平成26年度秋季特別展 箸墓以降
	大阪府近つ飛鳥博物館 平成26年度 秋季特別展 箸墓以降−邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ−
	出土品が語る 海と「大阪」
	大阪府立近つ飛鳥博物館 平成26年度冬季特別展 歴史発掘おおさか2014−大阪府発掘調査最新情報−
大阪府立弥生文化博物館	弥生文化博物館 要覧 平成24年度
	平成26年度春季特別展 縄文！岩手10000年のたび
	平成26年度 大阪府立弥生文化博物館 夏季特別展 遥かなるメソポタミア−時空を超えたヒトの営み−
	弥生文化博物館研究報告書 第7集
	平成26年度秋季特別展 河内地質
	平成二六年度冬季企画展 河内の美・技・心−考古学研究と[illegible]
大阪大学埋蔵文化財調査委員会	待兼山遺跡Ⅴ−待兼山西麓における墓域の調査−
大阪府教育委員会	太井遺跡発掘調査概要・Ⅲ
	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−2 瓜破北遺跡Ⅱ−府営瓜破東一丁目住宅建替え工事に伴う発掘調査−
	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−3 瓜破北遺跡 Ⅲ −府営瓜破東一丁目住宅建替え工事に伴う発掘調査−
	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−1 芹生谷遺跡 Ⅲ
大阪府教育委員会	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−4 久宝寺遺跡・瓜生堂遺跡・讃良郡条里遺跡−寝屋川北部・南部流域下水道設備事業に伴う発掘調査報告書−
	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−5 長池窯跡群
	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−6 禁野本町遺跡−都市計画道路枚方藤阪線拡幅工事に伴う発掘調査−
	大阪府埋蔵文化財調査報告2013−7 榎原遺跡−府営池田城南住宅建替えに伴う発掘調査−
公益財団法人 大阪府文化財センター	大阪文化財研究 第44号
	大阪文化財研究 第45号
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書第248集 吹田市・摂津市 吹田操車場遺跡10・明和池遺跡3 北部大阪都市計画事業 吹田操車場跡地土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査報告書【本文編】
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書第248集 吹田市・摂津市 吹田操車場遺跡10・明和池遺跡3 北部大阪都市計画事業 吹田操車場跡地土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査報告書【写真図版編】
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書第249集 八尾市田井中遺跡3 陸上自衛隊八尾駐屯地格納庫建替えに伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書第250集 総持寺遺跡3 摂津富田・茨木間新駅設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第251集 成合遺跡・金龍寺旧境内跡2−高速自動車道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 −
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第253集 大阪遺跡4 大阪府立成人病センター整備事業に伴う大阪城跡発掘調査報告書
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第254集 大阪城跡5 大手前立体駐車場建設工事に伴う大阪城跡発掘調査報告書
	公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第255集 井尻遺跡 一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業に伴う調査
大山崎町歴史資料館	第22回企画展 離宮八幡宮と中世の灯明油
岡山市教育委員会	大森遺跡－縄文時代晩期の大型石棒出土遺跡－
	千足古墳 発掘調査概要報告書
	岡山市埋蔵文化財センター年報13 2012（平成24）年度
	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要 第6号
	塩納遺跡A地点 勘定口古墳群－主要地方道佐伯長船線（美作岡山道路）道路改築に伴う発掘調査1－
	南坂1号墳・南坂遺跡−弥生時代の集落と古墳時代中期の円墳−
	史跡造山古墳 第一、二、三、四、五、六古墳保存管理計画書
乙訓の文化遺産を守る会	乙訓文化 八三号
	乙訓文化 八四号
	乙訓文化遺産8号
	乙訓文化遺産9号
	乙訓文化遺産10号
	乙訓文化遺産11号
	乙訓文化遺産13号
	乙訓文化遺産16号
	乙訓文化遺産17号
	乙訓文化遺産18号
	乙訓文化遺産19号
乙訓の文化遺産を守る会・古文書部会	辛卯日記（下） 天保二年・大山崎離宮八幡宮社役人日記
貝塚市教育委員会	貝塚市埋蔵文化財調査報告書 第82集 貝塚市遺跡群発掘調査概要36
	かいづか文化財だより テンプス44号
	かいづか文化財だより テンプス53号
	貝塚市文化財年報9 −平成22年度−
	貝塚市文化財年報10 −平成23年度−
	貝塚市文化財年報11 −平成24年度−
	貝塚市文化財年報12 −平成25年度−
	平成22年度貝塚市郷土資料展示室特別展図録 貝塚御坊願泉寺と平成の大修理
	平成23年度貝塚市郷土資料展示室特別展水間寺の歴史と寺宝
	かいづか文化財だより テンプス55号
柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館だより ゴンドラNo.11
	柏原市立歴史資料館 館報第26号 −2013年度−
	平成26年度 夏季企画展 縄文から弥生へ−船橋遺跡の縄文晩期土器が語るもの−
	河内国安宿部郡国分村 南西尾家文書目録Ⅰ
交野市教育委員会	平成25年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要
	金澤家文書目録 交野市史研究紀要第二三輯

発行	刊行物名
かつらぎ町教育委員会	平成24年度 かつらぎ町埋蔵文化財調査年報
かつらぎ町文化財調査検討委員会	かつらぎ町金石文調査報告書
かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会	平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）関西圏大学ミュージアム連携活性化事業/交流する大学ミュージアムを目指して -関西における文化遺産の継承- 実施報告書
	平成26年度文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業 交流する大学ミュージアムを目指して ～関西における文化遺産の継承～ 菅楯彦作品における大阪祭礼行事の調査報告書
関西大学図書館・関西大学博物館	関西大学 図書館・博物館連携企画展図録関西大学名品万華鏡 館館選イチオシ！
関西大学博物館	関西大学博物館彙報 阡陵 No.68
	関西大学博物館彙報 阡陵 No.69
岸和田市教育委員会	平成25年度 発掘調査概要
	久米田古墳群発掘調査報告2 －風吹山古墳・無名塚古墳・持ノ木古墳の調査
岸和田市・岸和田市教育委員会・旭新聞社	岸和田市文化賞 第26回 濱田青陵賞授賞式
有限会社京都平安文化財	平安京右京四条一坊七町（朱雀院）跡 2013
	伏見・桃陵遺跡
公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第124号
	京都府埋蔵文化財情報 第125号
	京都府埋蔵文化財情報 第126号
京都市文化市民局	京都市内遺跡発掘調査報告 平成25年度
	京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成25年度
	京都市内遺跡試掘調査報告 平成25年度
京都橘大学 文学部	京都橘大学 歴史遺産調査報告 2013 醍醐寺旧光台院本堂、芦屋神社境内古墳，栗谷古墳群茶ノ木山支群
熊取町教育委員会	熊取町埋蔵文化財調査報告第55集 熊取町遺跡群発掘調査概要報告書・XXVII
独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所概要2014
国立民俗博物館	月刊みんぱく 2014年11月号
茶道資料館	開館三十五周年記念 秋季特別展 茶の湯の名碗
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化 vol. 36
	人間文化 vol. 37
四條畷市教育委員会	るうてるホーム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 北口遺跡・讃良郡条里遺跡発掘調査報告書 四條畷市岡山5丁目所在
	四條畷市文化財調査年報 第1号
吹田市教育委員会	平成25(2013)年度 埋蔵文化財緊急発掘調査概要 高浜遺跡 豊嶋郡条里遺跡 垂水中遺跡C地点 垂水南遺跡 蔵人遺跡 片山東屋敷跡遺跡 都呂須遺跡 七尾遺跡
	北泉遺跡発掘調査報告書―北泉遺跡第1次発掘調査―
	五反島遺跡の発掘調査 吹田市南吹田下水処理場雨水滞水池設置工事に伴う発掘調査
吹田市立博物館	吹田市立博物館 館報14 平成24年度（2012年度）
	吹田市立博物館だより 第58号
	吹田市立博物館だより 第60号
泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書XXXI 泉南市文化財調査報告書第五十四集
	大東市史編纂史料集3 平野屋会所文書Ⅰ
	大東市埋蔵文化財調査報告第36集 野崎条里遺跡Ⅰ－大阪東部農業協同組合本店建設（擁壁設置工事）に伴う発掘調査報告書－
	大東市埋蔵文化財調査報告第37集 寺川遺跡 －野崎3丁目所在共同住宅建設に伴う発掘調査報告書－
	大東市埋蔵文化財調査報告第38集 北条西遺跡 －北条2・6丁目所在共同住宅建設に伴う発掘調査報告－
	大東市史編纂史料集4 平野家会所文書 Ⅱ
	大東市埋蔵文化財調査報告書第39集 共同住宅建設に伴う 寺川遺跡跡発掘調査報告書-大東市寺川5丁目在所-
大東市立歴史民俗資料館	平成26年度 大東市立歴史民俗資料館 特別展 野崎専応寺 -大東真宗の歴史と文化-
高石市教育委員会	高石市文化財調査概要2013-1 大園遺跡他の発掘調査概要
	たかいしを歩く―史跡ガイドマップ―
高槻市立今城塚古代歴史館	平成26年度夏季企画展〈シリーズ ハニワールドへようこそ〉 大王の儀礼の場-今城塚古墳にみる家・門・柵の埴輪-
	平成26年度秋季特別展 古墳時代の船と水運
高槻市教育委員会文化財課	高槻市文化財年報 平成24年度
	嶋上遺跡群38
高槻市立しろあと歴史館	高槻市文化財調査報告書 第31冊 成合春日神社伝来 大般若経・馬具 調査報告書
	しろあとだより 第9号
	高槻市立しろあと歴史館秋季特別展「戦国 大阪の城-動乱の時代と天下統一」図録 大阪のお城がわかる本 戦国の12城
	しろあとだより

発行	刊行物名
高槻市立しろあと歴史館	平成27年 しろあと歴史館第29回企画展 人とほとけのきずな 平安の名宝とさまざまな仏像たち
田尻町教育委員会	田尻町内遺跡群発掘調査概要14
地域文化財研究所	生駒ふるさとミュージアム（登録有形文化財 旧生駒町役場庁舎）
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告XVI
帝塚山大学考古学研究所・附属博物館	シンポジウム報告 那賀郡の軒瓦に見られる東アジアとの交流
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報IX
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 平成24・25年度（2012・2013年度）
	摂津麻田藩図録
富田林市教育委員会	古代のとんだばやし
	平成25年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書
長岡京市教育委員会	長岡京市文化財調査報告書 第66冊
奈良文化財研究所	禅宗寺院と庭園 平成24年度 庭園の歴史に関する研究会報告書
	室町時代の将軍の庭園 平成25年度 庭園の歴史に関する研究会報告書
奈良文化財研究所埋蔵文化財センター	埋蔵文化財ニュース155 現場のための環境考古学
	埋蔵文化財ニュース156 奈良文化財研究所が提供しているデータベース
	埋蔵文化財ニュース157 2012年度 埋蔵文化財関係統計資料
公益社団法人日本工芸会近畿支部	現代の未来に生きる伝統工芸 美しい「もの」をつくりたい 手わざを支える人ものⅡ 続編
能勢町教育委員会生涯教育課	平成25年度能勢町埋蔵文化財調査概要
(財)野村生涯教育センター	野村生涯教育だより No.356
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 31
東大阪市立郷土博物館	平成26年度 特別展示 東大阪のしきたりと年中行事
枚方市教育委員会	枚方市文化財調査報告第72集 特別史跡 百済寺跡 平成24年度確認調査概要
	枚方市文化財調査報告第73集 枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2012
	枚方市文化財調査報告第76集 特別史跡 百済寺跡 平成25年度確認調査概要
	枚方市文化財調査報告第77集 枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2013
枚方市教育委員会、公益財団法人枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財調査報告第75集 大阪府枚方市 大阪府史跡田口山遺跡 -平成22～24年度範囲内容確認調査報告書-
藤井寺市教育委員会	遺跡 -平成22～24年度範囲内容確認調査報告書-
	石川流域遺跡群発掘調査報告XXIX 藤井寺市文化財報告 第35集
藤井寺市教育委員会 羽曳野市教育委員会	国史跡 古市古墳群保存管理計画
文化庁文化財部記念物課	「記念物・文化的景観」マネジメント支援事業 史跡、名勝、天然記念物及び重要文化的景観の保存・活用に関する調査報告書
滋賀県米原市教育委員会	米原市文化財ニュース 佐加太 第39号
	米原市文化財ニュース 佐加太 第40・41合併号
港区教育委員会	港区埋蔵文化財調査年報11 -平成24年度の調査他-
	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告54 豊後日出藩木下家屋敷跡遺跡発掘調査報告書 2013
	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告56 豊後森藩久留島家・丹波亀山藩松平家屋敷跡遺跡発掘調査報告書 2014
	平成25年度 港区指定文化財 平成25年10月23日指定
	港区埋蔵文化財調査年報12－平成25年度の調査－
港区立港郷土資料館	資料館だより 第73号
	研究紀要16 平成25年度
	資料館だより 第74号
	港郷土資料館館報-32-平成25年度版(2013年度版)
向日市文化資料館/むこうまち歴史サークル 1班・2班・3班・4班	むこうまち歴史サークル十五周年記念誌
八尾市教育委員会	八尾市文化財調査報告71八尾市神宮寺墓地(来迎寺共同墓地)調査報告書
	八尾市文化財調査報告72 平成25年度国庫補助事業八尾市内遺跡平成25年度発掘調査報告書
	八尾市文化財調査報告73植田家所蔵文化財史料調査報告1 民具史料編-くらしのもの語り-
	八尾市文化財調査報告74植田家所蔵文化財資料調査報告2 安中新田 植田家文書目録
公益財団法人 八尾市文化財調査研究会	考古資料からみる八尾の歴史-旧石器時代～中世まで- 2014
	平成25年度 （公財）八尾市文化財調査研究会事業報告
八幡市教育委員会	八幡市埋蔵文化財発掘調査報告 第57集平成23・24年度国庫補助事業発掘調査報告書 木津川河床遺跡(第23次)試掘確認調査報告 女郎花遺跡(第14次)試掘確認調査報告
	八幡市埋蔵文化財発掘調査報告 第58集 美濃山廃寺(第8次)・美濃山廃寺下層遺跡(第11次)発掘調査報告書
	八幡市埋蔵文化財発掘調査報告 第59集 木津川河床遺跡(第24次)発掘調査報告書
雄山閣	季刊 考古学 第129号

町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成 20 年 7 月 1 日に施行されました。
島本町文化財保護審議会にて審議いただき下記の文化財が指定されました。

平成 21 年度

島本町指定文化財　第 1 号		
名　　称	：	水無瀬駒　関連資料
指 定 日	：	平成 21 年 4 月 14 日
所 有 者	：	水無瀬神宮（個人）
所 在 地	：	広瀬三丁目
種　　類	：	有形文化財
種　　別	：	美術工芸品（歴史資料）
員　　数	：	小将棋（漆書・八十二才銘） 一揃　合計 39 枚 飛車が欠落 中将棋（墨書・八十六才銘） 一揃　合計 91 枚 歩兵が欠落 中将棋（漆書）残欠四枚 象戯圖　一巻、 附 象戯圖　一巻
時　　代	：	安土桃山時代

平成 22 年度

島本町指定文化財　第 2 号		
名　　称	：	神像（伝 聖徳太子七歳像）
指 定 日	：	平成 22 年 4 月 5 日
所 有 者	：	若山神社
所 在 地	：	大阪市立美術館　寄託
種　　類	：	有形文化財
種　　別	：	美術工芸品（彫刻）
員　　数	：	1 躯
品質･形状	：	ヒノキ材・一木造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法　　量	：	像高　35.8cm
時　　代	：	平安時代後期

平成 23 年度

島本町指定文化財　第 3 号		
名　　称	：	宝城庵　薬師如来立像
指 定 日	：	平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者	：	宝城庵
所 在 地	：	桜井三丁目
種　　類	：	有形文化財
種　　別	：	美術工芸品（彫刻）
員　　数	：	1 躯
品質･形状	：	ヒノキ材・一木造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法　　量	：	像高　96.5cm
時　　代	：	平安時代後期

島本町指定文化財　第 1 号　追加		
名　　称	：	将棊馬日記
指 定 日	：	平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者	：	水無瀬神宮（個人）
所 在 地	：	広瀬三丁目
種　　類	：	有形文化財
種　　別	：	美術工芸品（歴史資料）
時　　代	：	17 世紀初期
員　　数	：	一冊

平成 24 年度

島本町指定文化財　第 4 号		
名　　称	：	勝幡寺　薬師如来立像
指 定 日	：	平成 24 年 4 月 1 日
所 有 者	：	勝幡寺
所 在 地	：	山崎四丁目
種　　類	：	有形文化財
種　　別	：	美術工芸品（彫刻）
員　　数	：	1 躯
品質･形状	：	ヒノキ材・割矧ぎ造りか・ 彫眼・漆箔仕上げ
法　　量	：	像高　150.1cm
時　　代	：	鎌倉時代

平成 26 年度

島本町指定文化財　第 5 号		
名　　称	：	勝播寺　元三大師みくじ 関係資料　一式
指 定 日	：	平成 26 年 4 月 1 日
所 有 者	：	勝播寺
所 在 地	：	山崎四丁目
種　　類	：	有形民俗文化財
時　　代	：	江戸時代（一部推定を含む）
品　　目	：	みくじ箋の版木、みくじ箱、 みくじ竹、みくじ箪笥

島本町立歴史文化資料館　館報 第７号
平成 26 年度版（2014）

発　行　島本町教育委員会
〒618-8570
大阪府三島郡島本町桜井二丁目１番１号
TEL 075-961-5151
発行日　平成 27 年 11 月
印　刷　三星商事印刷株式会社
〒604-0093
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 300
TEL 075-256-0961